

高知県感染症発生動向調査（週報）

2016年 第46週（11月14日～11月20日）

★お知らせ

○咽頭結膜熱に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第45週の0.37から第46週は0.77と急増しています。高知市、中央東、須崎で増加し、高知市では第44週まで9週連続で注意報値を超えた後、第45週は一旦注意報値を下回っていましたが、再び注意報値を超えています。

定点医療機関からのホット情報でもアデノウイルス感染症（咽頭結膜熱）として20例の報告があるなど、アデノウイルスを原因とする感染症の報告が増加しています。

咽頭結膜熱の主な症状は、発熱・咽頭炎・結膜炎で、その他に、リンパ節の腫れ、腹痛、下痢等が生じることもあります。

感染力は強く、通常は患者の咳やくしゃみ等のしぶきに含まれるウイルスによる飛沫感染、あるいは、ウイルスが付着した手やタオル等の患者が触れたものを介した接触感染により結膜あるいは上気道から感染します。

以下のことに気を付け、感染予防に努めましょう。

- 1) 流行時には流水と石けんによる手洗い、うがいを励行しましょう。
- 2) 感染者との密接な接触は避けましょう。
- 3) タオル等は別のものを使い、共用しないようにしましょう。

○百日咳に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第46週の0.07から第46週では0.07と横ばいですが、須崎で増加し、注意報値を超えています。

百日咳は、百日咳菌による感染症です。患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる細菌によって感染します。通常7～10日間程度の潜伏期を経て、普通のかぜ症状で始まり、次第に咳が多くなり程度も激しくなる事と、痰が出る事が特徴です。その後、激しい咳は2～3週間かけて徐々に治まりますが、時折、発作性の咳がみられます。

百日咳は、感染力が強く、咳の開始から約3週間は菌の排出があるため、注意が必要です。

特に生後6ヶ月未満の乳児では無呼吸発作等、重篤になる場合もあるので、予防接種をしていない新生児、乳児がいる場合は特に感染に対する注意が必要です。

予防対策は予防接種、うがい、手洗い、咳エチケットです。

感染予防のためにワクチン接種をお勧めします。ワクチンは生後3ヶ月から接種可能なので、かかりつけ医と相談し、出来るだけ早く受けておくことをお勧めします。

○インフルエンザに気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第45週の0.21から第46週では0.33と増加し、中央西、安芸、中央東で増加しています。

中央西、安芸、中央東、高知市から報告があり、迅速検査ではインフルエンザA型92.9%、B型7.1%となっています。

全国でも定点医療機関当たりの報告数が第44週の0.59から第45週では0.84となるなど、増加傾向にあるうえ、過去5年間の同時期と比較しても報告数が多い状態であることから注意が必要です。

全国の今シーズンの検出状況は第44週時点でA(H3)香港型が88%、A(H1)pdm09型が10%、B型が2%となっています。

これからの時期は空気も乾燥し、インフルエンザウイルスが活動しやすい時期となります。

インフルエンザの感染力は大変強く、いったん流行が始まると、短期間に多くの人へ感染が拡大することから、集団生活の場では特に注意が必要です。

予防対策としては手洗い、咳エチケットのほか予防接種がありますので、かかりつけ医療機関にお尋ねください。

学校等における集団発生

※感染症情報収集システム

保健所		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多
休校	第46週	0	0	0	0	0	0
	累計	0	0	0	0	0	0
学年閉鎖	第46週	0	1	0	0	0	0
	累計	0	1	0	0	0	0
学級閉鎖	第46週	0	0	0	0	0	0
	累計	0	0	0	0	0	0

インフルエンザ予防接種は、お早めに！

インフルエンザワクチンを接種してから抗体ができて予防効果が発現するためには、約2週間かかり、約5ヶ月程度持続すると言われていたことから、12月頃までに接種を完了することが望まれます。予防接種には、インフルエンザウイルスに感染した場合に発症を一定程度抑える効果や重症化を予防する効果が認められています。

インフルエンザの飛沫感染対策【咳エチケット】

インフルエンザの主な感染経路は咳やくしゃみの際に口から発生される小さな水滴（飛沫）による飛沫感染であることから、感染予防のため以下の咳エチケットに心がけてください。

- (1) 普段から皆が咳エチケットを心がけるとともにくしゃみを他の人に向けて発しないこと。
 - (2) 咳やくしゃみが出るときはできるだけマスクをすること。
 - (3) 手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗うこと。 等
- 飛沫感染対策ではマスクは重要です。特に感染者がマスクをすることが、感染の拡散を抑える効果が高いと言われています。

●厚生労働省 「平成28年度今冬のインフルエンザ総合対策について」

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/influenza/index.html>

●厚生労働省 「平成28年度インフルエンザ Q&A」

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/qa.html>

○感染性胃腸炎に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第45週の6.13から第46週では4.40と減少していますが、安芸、幡多では増加しています。定点医療機関からのホット情報では、ノロウイルス6例、カンピロバクター2例が報告され、その他にも感染性胃腸炎7例（病原体記載なし）の報告に加えて、「感染性胃腸炎が増加している」とのコメントもあります。病原体検出情報では臨床診断名感染性胃腸炎として第46週に搬入された検体からNorovirus GII NTの他、Sapovirus genogroup unknownが報告されています。

感染性胃腸炎は、吐き気、おう吐、下痢、発熱、腹痛を主症状とする、細菌あるいはウイルスなどによる感染症です。例年、秋から冬にかけてノロウイルス、ロタウイルスなどのウイルス感染による感染性胃腸炎の報告数が増加します。

特にノロウイルスを原因とする場合、学校や社会福祉施設など集団生活の場で大規模な流行となることもあるため注意が必要です。

予防対策のため、帰宅時や調理前・食事前、トイレの後に石けんでよく手を洗いましょう。また、感染した人の便やおう吐物には、直接触れないようにし、次亜塩素酸ナトリウムまたは、家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤の使用法を確認し処理しましょう。（使い捨ての手袋やキッチンペーパーなどを使って処分しましょう。）調理をする場合は、よく加熱（85℃、1分以上）しましょう。

●厚生労働省 「ノロウイルスに関する Q&A」

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html

●衛生研究所 「高知県ノロウイルス対策マニュアル」

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/norovirus.html>

○マイコプラズマ肺炎に気を付けて！

基幹定点当たりの報告数は第45週の1.25から第46週では1.38とほぼ横ばいですが、中央東、高知市で増加し、定点医療機関からのホット情報でも31例が報告されています。また、感染症情報システム※でも35例の報告があるなど引き続き報告数の多い状態が続いていることから、注意が必要です。

マイコプラズマ肺炎は、肺炎マイコプラズマによって起こる呼吸器感染症で、幼児期から学童期によく見られます。頑固な咳嗽と発熱を主症状に発病し、中耳炎、胸膜炎、心筋炎、髄膜炎などの合併症を生じることがあります。

感染経路は患者の咳のしぶきを吸いこんだり、患者と身近で接触したりすることにより感染すると言われています。保育園や幼稚園、学校、あるいは家庭内等での伝播がみられます。

予防対策としては、手洗いと咳エチケットです。

※ 感染症情報収集システム：県内小中高等学校における疾病別患者数情報システム

☆マダニの感染症（日本紅斑熱・SFTS）に注意！

日本紅斑熱やSFTS（重症熱性血小板減少症候群）はマダニが媒介する感染症です。

すべてのマダニが病原体を持っているわけではありませんが、ダニに咬まれないようにすることが感染の予防になりますので引き続き、注意が必要です。予防するためのワクチン等はありません。

野山や畑、草むらなどに出かけるときは十分注意しましょう。

長袖・長ズボンを着用し、シャツの裾はズボンの中に入れ、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる等、肌の露出を少なくし、マダニ用の忌避剤を使用する等して、マダニに咬まれないようにしましょう。吸血中のマダニを見つけたら、無理に引き抜こうとせず、医療機関を受診し処置してもらいましょう。

発熱等の症状が出たとき

野山に入ってからしばらくして（数日～2週間程度）発熱等の症状が出た場合、医療機関を受診して下さい。また受診の際、発症前に野山に立ち入ったこと（ダニに咬まれたこと）を申し出て下さい。






- 高知県衛生研究所 ダニが媒介する感染症

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

- 高知県衛生研究所 マダニによる感染症の注意喚起パンフレットを作成しました。

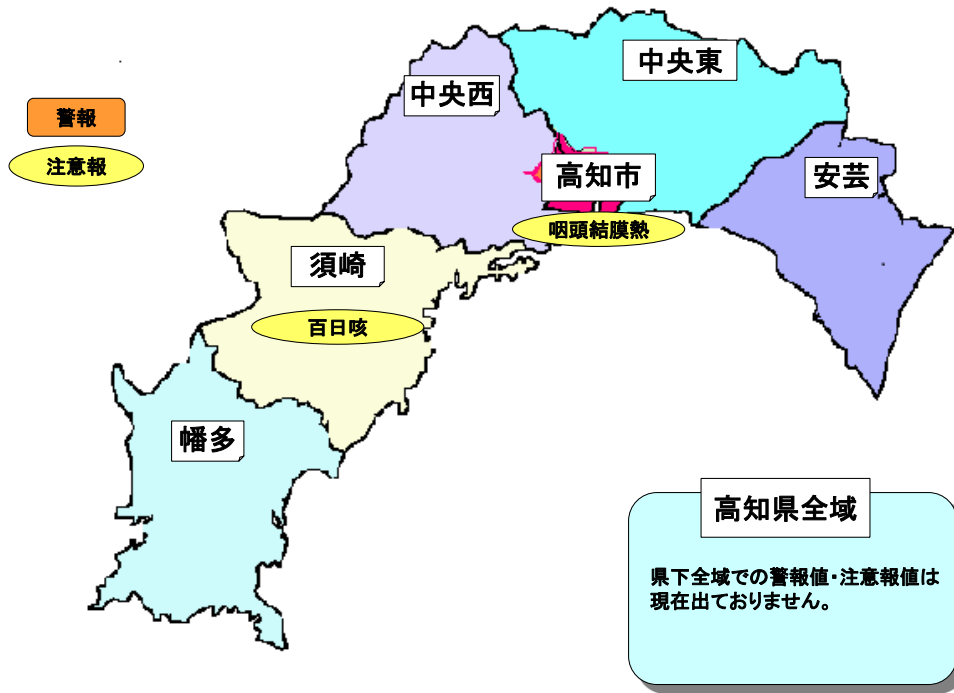
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2016061300063.html>

★県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患）  : 急増  : 増加  : 横ばい  : 減少  : 急減
46週（11月14日～11月20日）

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
感染性胃腸炎		4.40	安芸、幡多で増加しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.90	須崎、中央西、安芸で増加しています。
RSウイルス感染症		0.90	須崎で増加しています。
咽頭結膜熱		0.77	高知市、中央東、須崎で増加し、高知市では注意報値を超えています。
水痘		0.70	須崎、高知市、幡多、中央東で増加しています。

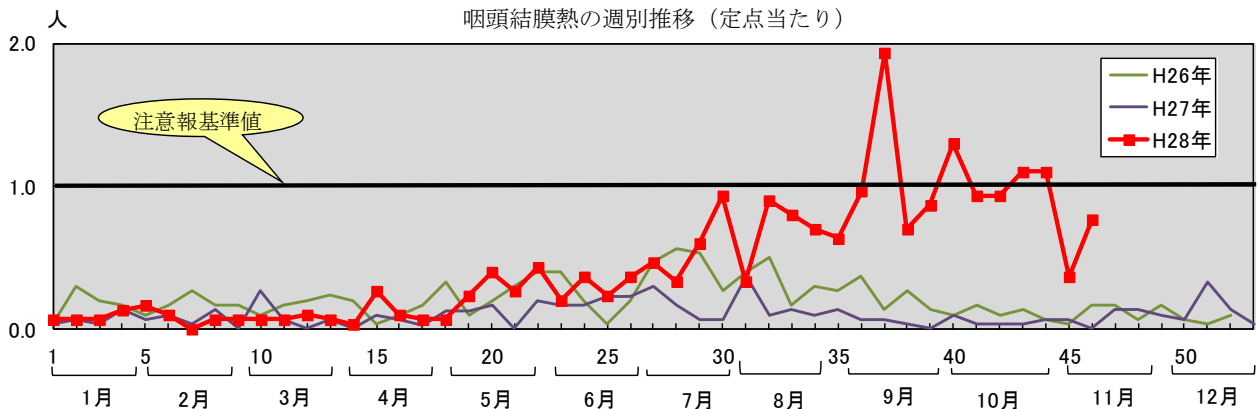
★地域別感染症発生状況



★気を付けて！

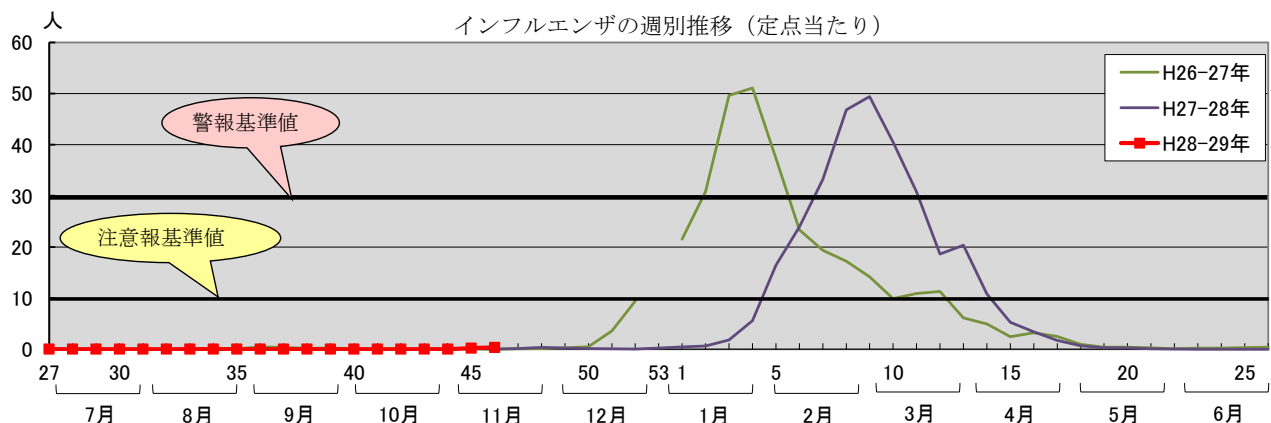
○咽頭結膜熱 第46週： 0.77 (注意報値：1.00 警報値：3.00)

定点医療機関からの報告数は定点当たり 0.77 (前週：0.37) と急増し、高知市 1.55 (前週：0.64)、中央東 0.71 (前週 0.43)、須崎 0.50 (前週：0.00) で増加し、高知市では注意報値を超えています。



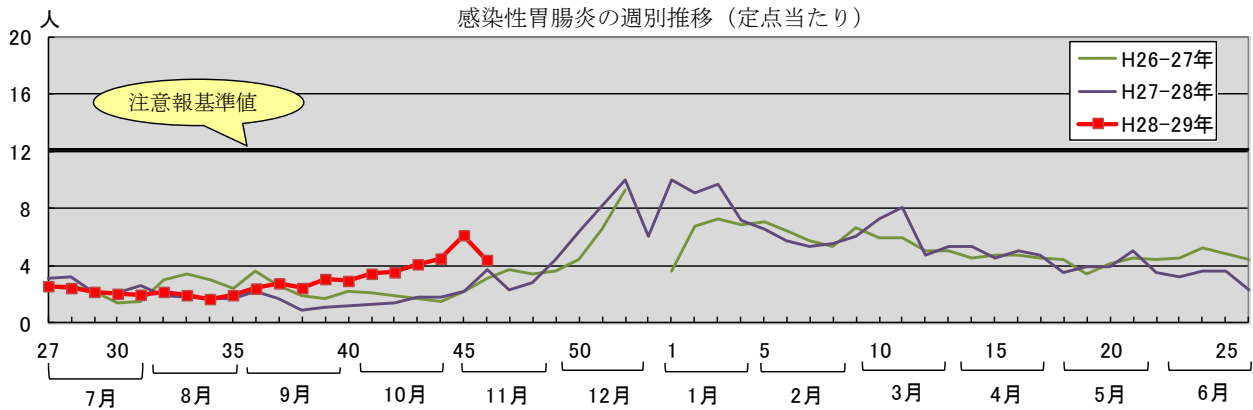
○インフルエンザ 第46週： 0.33 (注意報値：10.00 警報値：30.00)

定点医療機関からの報告数は定点当たり 0.33 (前週 0.21) と増加し、中央西 1.00 (前週 0.00)、安芸 0.75 (前週 0.25)、中央東 0.64 (前週 0.45) で増加しています。



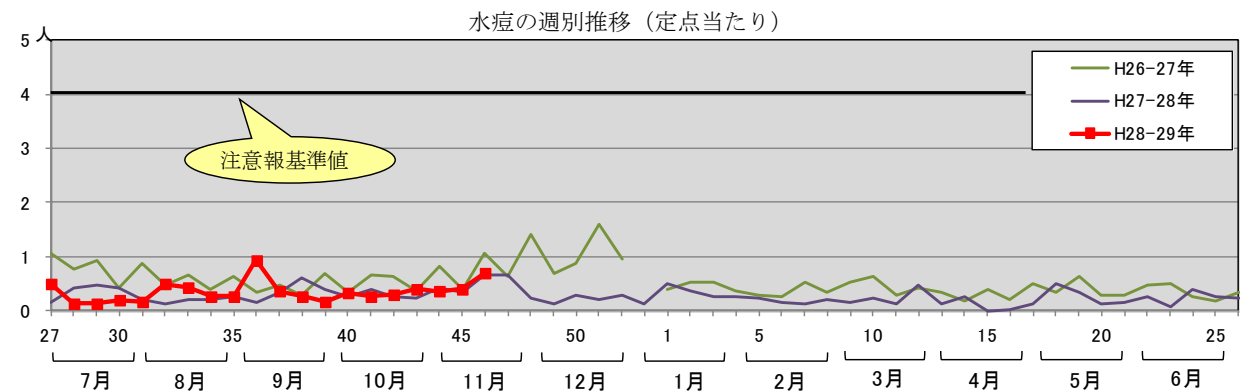
○感染性胃腸炎 第46週：4.40 (注意報値：12.00 警報値：20.00)

定点医療機関からの報告数は定点当たり4.40(前週:6.13)と減少しています。安芸5.50(前週:1.50)、幡多1.80(前週:0.80)で増加しています。



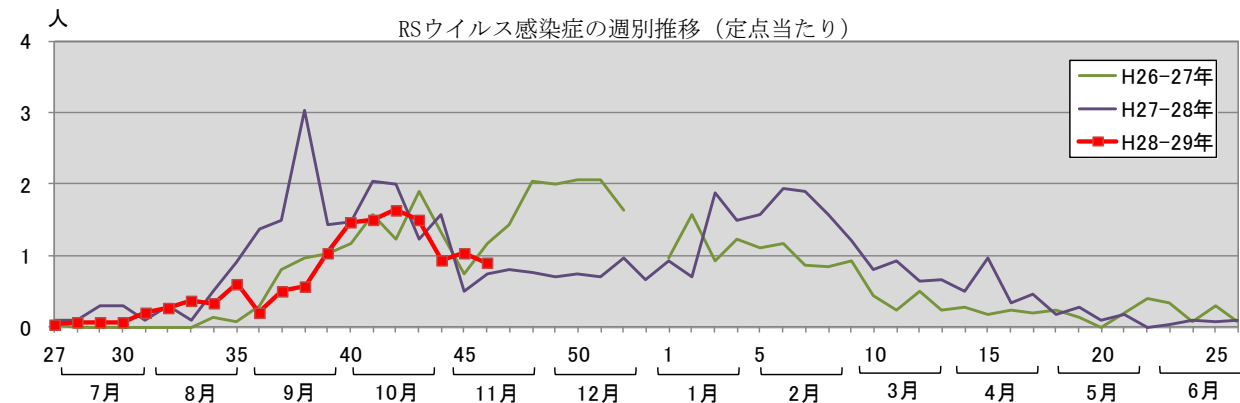
○水痘 第46週：0.70 (注意報値：4.00 警報値：7.00)

定点医療機関からの報告数は定点当たり0.70(前週:0.40)と増加しています。須崎1.00(前週:0.00)、高知市0.91(前週:0.73)、幡多0.80(前週:0.20)、中央東0.57(前週:0.29)で増加しています。



○RSウイルス感染症 第46週：0.90 (注意報値：- 警報値：-)

定点医療機関からの報告数は定点当たり0.90(前週:1.03)とほぼ横ばいですが、須崎1.50(前週:1.00)で増加しています。



※グラフの途切れについて

H27-H28年は第53週までであるため、グラフ横軸に第53週を挿入しています。

そのため、H25-H26年とH26-H27年のグラフ第52週～第1週間に途切れが生じています。

★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
46	感染性胃腸炎	3	男	須崎	Norovirus GII NT
46	急性咽頭炎	1	女	高知市	Sapovirus genogroup unknown
46	感染性胃腸炎	1	女	須崎	Sapovirus genogroup unknown
46	感染性胃腸炎	2	女	須崎	Sapovirus genogroup unknown
46	感染性胃腸炎	8	女	須崎	Sapovirus genogroup unknown
46	百日咳	11	男	須崎	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
44	ヘルパンギーナ	5	女	高知市	Coxsackievirus A2
44	-	6	男	中央東	Rhinovirus
45	流行性角結膜炎	1	女	高知市	Adenovirus 2
45	伝染性紅斑	0ヶ月	男	幡多	Parvovirus 3
45	感染性胃腸炎	2	女	須崎	Coxsackievirus A14

★全数把握感染症

第46週

類型	疾病名	件数	累計	内容	保健所
2類	結核	1	111	80歳代女	中央西
		1	112	80歳代男	安芸
		1	113	70歳代女	安芸
		1	114	80歳代女	中央東
		1	115	50歳代女	高知市
		1	116	80歳代女	幡多
5類	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	19	0~4歳女	中央東

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情報
中央東	あけぼのクリニック	RSウイルス感染症3例（1ヶ月、10ヶ月、1歳） インフルエンザA 4例
	早明浦病院小児科	マイコプラズマ肺炎7例（3歳男2人、3歳女、4歳男、6歳女、13歳女2人）
	野市中央病院小児科	マイコプラズマ肺炎2例（1歳女、3歳男） インフルエンザA(+)1例（12歳男：迅速診断にてワクチン未）
高知市	けら小児科・アレルギー科	アデノウイルス感染症10例（0歳3人、1歳、2歳3人、3歳2人、9歳：出血性膀胱炎）
		マイコプラズマ肺炎10例（2歳、4歳2人、5歳、6歳、7歳2人、10歳、11歳、31歳）
		カンピロバクター腸炎1例（3歳）
		ノロウイルス腸炎1例（2歳）
		百日咳1例（8歳男：PT-IgG160EU/ml以上）
	福井小児科・内科・循環器科	アデノウイルス感染症と溶連菌感染症同時感染1例（8歳男）
		マイコプラズマ肺炎1例（45歳女）
		伝染性紅斑1例（8歳女）
		流行性耳下腺炎1例（3歳女：ワクチン未接種）
		水痘1例（3歳女：ワクチン2回接種済み）
		溶連菌感染症5例
		感染性胃腸炎が増えてきている。
細木病院小児科	ノロウイルス5例（0歳男、2歳女3人、5歳男）	
三愛病院小児科	マイコプラズマ肺炎5例（1歳女、3歳女、4歳男2人、6歳男）	
	アデノウイルス感染症1例（2歳女）	
高知医療センター小児科	RSウイルス感染症4例（0ヶ月男、1ヶ月女、6ヶ月女、1歳女）	
	感染性胃腸炎7例（1歳男、3歳男、4歳女、6歳女、7歳男2人、7歳女）	
	咽頭結膜熱1例（3歳男）	
中央西	石黒小児科	単純ヘルペス1例（80歳女） 口唇ヘルペス1例（11歳男）
	くぼたこどもクリニック	アデノウイルス感染症2例（3歳男、6歳女） 溶連菌感染症1例（11歳女：土佐市）
須崎	もりはた小児科	滲出性扁桃炎（アデノ）5例
		マイコプラズマ肺炎4例（3歳、4歳、7歳、8歳） カンピロバクター腸炎1例（8歳男※45週検出）
幡多	さたけ小児科	マイコプラズマ2例（10歳男、11歳男）

お知らせ

高知県感染症週報第45週号において、定点医療機関からのホット情報の報告数記載漏れがありましたので、下表のとおり訂正させていただきます。（__部の値を訂正しました）

誤		正	
福井小児科・内科・循環器科	マイコプラズマ肺炎5例（4歳男2人、5歳男、6歳男、13歳女）	福井小児科・内科・循環器科	マイコプラズマ肺炎 <u>6</u> 例（4歳男2人、5歳男、 <u>6</u> 歳男2人、13歳女）

マイコプラズマ6歳男が1人増え、それに伴い医療機関のマイコプラズマ肺炎が1例増の6例となります。

週報2ページ「○マイコプラズマ肺炎に気を付けて」本文中2行目の定点からのホット情報での報告数も1例増の45例に訂正させていただきます。

★全国情報

第44号（10月31日～11月6日）

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核315例

3類感染症：細菌性赤痢2例、腸管出血性大腸菌感染症69例、パラチフス2例

4類感染症：A型肝炎2例、重症熱性血小板減少症候群4例、つつが虫病19例、デング熱3例、日本紅斑熱7例、マラリア1例、レジオネラ症28例、レプトスピラ症1例

5類感染症：アメーバ赤痢13例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症19例、急性脳炎6例、クロイツフェルト・ヤコブ病1例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症3例、後天性免疫不全症候群9例、侵襲性インフルエンザ菌感染症3例、侵襲性肺炎球菌感染症37例、水痘（入院例に限る）5例、梅毒61例、破傷風2例、風しん1例、麻しん2例

報告遅れ：E型肝炎1例、つつが虫病2例、日本紅斑熱3例、ライム病1例、レジオネラ症6例、レプトスピラ症1例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症10例、急性脳炎1例、水痘（入院例に限る）1例、梅毒33例、播種性クリプトコックス症1例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例

高知県感染症情報(59定点医療機関)

第46週 平成28年11月14日(月)～平成28年11月20日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所							計	前週	全国(45週)	高知県(46週末累計) H28/1/4～H28/11/20	全国(45週末累計) H28/1/4～H28/11/13
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多						
インフルエンザ	インフルエンザ	3	7	1	5			16 (0.33)	10 (0.21)	4,133 (0.84)	14,953 (311.52)	1,598,968 (323.81)	
小児科	咽頭結膜熱		5	17		1		23 (0.77)	11 (0.37)	873 (0.28)	622 (20.73)	58,094 (18.41)	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	1	21	2	2		27 (0.90)	30 (1.00)	6,290 (1.99)	2,208 (73.60)	317,765 (100.72)	
	感染性胃腸炎	11	41	53	7	11	9	132 (4.40)	184 (6.13)	29,613 (9.37)	6,031 (201.03)	766,251 (242.87)	
	水痘		4	10	1	2	4	21 (0.70)	12 (0.40)	1,475 (0.47)	395 (13.17)	52,308 (16.58)	
	手足口病			3	1			4 (0.13)	2 (0.07)	2,319 (0.73)	341 (11.37)	57,697 (18.29)	
	伝染性紅斑			6				6 (0.20)	5 (0.17)	301 (0.10)	316 (10.53)	48,750 (15.45)	
	突発性発疹		7	4		2	2	15 (0.50)	6 (0.20)	1,366 (0.43)	475 (15.83)	67,589 (21.42)	
	百日咳			1		1		2 (0.07)	2 (0.07)	62 (0.02)	107 (3.57)	2,724 (0.86)	
	ヘルパンギーナ	1		3	1			5 (0.17)	11 (0.37)	526 (0.17)	776 (25.87)	127,135 (40.30)	
	流行性耳下腺炎		8	6		1	1	16 (0.53)	30 (1.00)	3,367 (1.07)	866 (28.87)	138,293 (43.83)	
RSウイルス感染症	2	5	13	1	3	3	27 (0.90)	31 (1.03)	3,774 (1.19)	982 (32.73)	85,231 (27.01)		
眼科	急性出血性結膜炎							()	()	3 ()	()	358 (0.52)	
	流行性角結膜炎							()	1 (0.33)	496 (0.72)	18 (6.00)	22,809 (33.01)	
基幹	細菌性髄膜炎							()	()	14 (0.03)	10 (1.25)	443 (0.93)	
	無菌性髄膜炎							()	()	23 (0.05)	34 (4.25)	1,224 (2.58)	
	マイコプラズマ肺炎		2	5			4	11 (1.38)	10 (1.25)	627 (1.33)	287 (35.88)	16,139 (34.05)	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)							()	()	8 (0.02)	29 (3.63)	300 (0.63)	
	感染性胃腸炎							()	()	11 (0.02)	237 (29.63)	5,096 (10.75)	
計 (小児科定点当たり人数)	18 (8.25)	80 (10.77)	143 (12.52)	18 (5.32)	23 (11.50)	23 (3.80)	305 (9.60)			55,281	28,687 (748.82)	3,367,174	
前週 (小児科定点当たり人数)	6 (2.75)	112 (15.74)	152 (13.24)	30 (9.99)	19 (9.50)	26 (4.00)		345 (11.02)					

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(59定点医療機関)定点当たり人数

定点当たり

第46週

定点名	疾病名	保健所							計	前週	全国(45週)	高知県(46週末累計) H28/1/4～H28/11/20	全国(45週末累計) H28/1/4～H28/11/13
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多						
インフルエンザ	インフルエンザ	0.75	0.64	0.06	1.00			0.33	0.21	0.84	311.52	323.81	
小児科	咽頭結膜熱		0.71	1.55		0.50		0.77	0.37	0.28	20.73	18.41	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.50	0.14	1.91	0.67	1.00		0.90	1.00	1.99	73.60	100.72	
	感染性胃腸炎	5.50	5.86	4.82	2.33	5.50	1.80	4.40	6.13	9.37	201.03	242.87	
	水痘		0.57	0.91	0.33	1.00	0.80	0.70	0.40	0.47	13.17	16.58	
	手足口病			0.27	0.33			0.13	0.07	0.73	11.37	18.29	
	伝染性紅斑			0.55				0.20	0.17	0.10	10.53	15.45	
	突発性発疹		1.00	0.36		1.00	0.40	0.50	0.20	0.43	15.83	21.42	
	百日咳			0.09		0.50		0.07	0.07	0.02	3.57	0.86	
	ヘルパンギーナ	0.50		0.27	0.33			0.17	0.37	0.17	25.87	40.30	
	流行性耳下腺炎		1.14	0.55		0.50	0.20	0.53	1.00	1.07	28.87	43.83	
RSウイルス感染症	1.00	0.71	1.18	0.33	1.50	0.60	0.90	1.03	1.19	32.73	27.01		
眼科	急性出血性結膜炎											0.52	
	流行性角結膜炎								0.33	0.72	6.00	33.01	
基幹	細菌性髄膜炎									0.03	1.25	0.93	
	無菌性髄膜炎									0.05	4.25	2.58	
	マイコプラズマ肺炎		2.00	1.00			4.00	1.38	1.25	1.33	35.88	34.05	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									0.02	3.63	0.63	
	感染性胃腸炎									0.02	29.63	10.75	
計 (小児科定点当たり人数)	8.25	10.77	12.52	5.32	11.50	3.80	9.60				748.82		
前週 (小児科定点当たり人数)	2.75	15.74	13.24	9.99	9.50	4.00		11.02					

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）

〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）

TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869